

サキグロタマツメタの生息状況と駆除

福島県水産試験場相馬支場
平成16～17年度福島県水産試験場事業報告書

1 部門名

水産－その他－アサリ
分類コード 09-99-54000000

2 担当者

佐藤利幸

3 要旨

平成15年に二枚貝を捕食する巻き貝、サキグロタマツメタが松川浦で初めて確認されアサリへの食害が懸念される。このため、漁業被害の未然防止を図ることを目的に本種の移入防止対策の検討と生息状況を調査するとともに、漁協に対し駆除の実施を指導し、食害によるアサリ資源への被害軽減を図った。

- (1) 漁協が購入した移植用アサリに混入する生物を調査した結果、サキグロタマツメタは確認されなかった。従来の分布状況からみて、サキグロタマツメタは移植用アサリに混入してきたものと考えられるが、その数量は極めて少ないと考えられた。
- (2) サキグロタマツメタの分布密度は平均0.37個体/㎡であり、食害による被害が深刻な宮城県万石浦の平均分布密度(3.1個体/㎡)より低かった。
- (3) 水産試験場の指導により、漁協では直ちにアサリ操業時に併せて成貝の駆除を行うとともに、産卵期の9月から10月にかけて卵塊の駆除作業を実施している。平成16年から18年までの年間駆除数量は成貝629～719kg、卵塊154～1,460kgであった。
- (4) 現在、漁協全体の取り組みとして駆除が行われており、食害の影響は深刻な事態に至っていないが、当面は駆除を継続し駆除数量と分布状況の調査を行うとともに、被害状況の把握と被害軽減策を検討する必要がある。

4 その他の資料等

なし